

平成27年度行政事業レビューシート ( 総務省 )

<b>事業名</b>	映像等近未来技術活用促進事業			<b>担当部局</b>	情報流通行政局			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	平成28年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	平成28年度	<b>担当課室</b>	情報流通振興課 情報流通高度化推進室 情報通信利用促進課			課長 今川 拓郎 室長 吉田 宏平 課長 岸本 哲哉	
<b>会計区分</b>	一般会計			<b>政策・施策名</b>	V-2 情報通信技術高度利活用の推進				
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	総務省設置法第4条第76号			<b>関係する計画、通知等</b>	経済財政運営と改革の基本方針2015(平成27年6月30日閣議決定) 「日本再興戦略」改訂2015(平成27年6月30日閣議決定) 世界最先端IT国家創造宣言工程表(平成27年6月30日IT総合戦略本部決定) 地方創生IT利活用プラン(平成27年6月30日IT総合戦略本部決定)				
<b>主要政策・施策</b>	高齢社会対策、IT戦略			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	医療分野をはじめ利用者ニーズを踏まえた4K・8K技術の社会実装を加速し、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において世界最先端のICT技術の一つとして発信することで、世界における我が国の技術優位性を確立するとともに、遠隔医療の質の向上を図る。								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	① 8K技術を活用した遠隔医療に必要な技術検証 衛星通信によるリアルタイム性(伝送遅延の有無等)の検証や遠隔医療(病理診断等)に必要な水準の映像再現性の検証等を通じた最適技術の確立 ② その他の分野における4K・8K技術等の活用に向けた調査研究 教育など他の分野における4K・8K技術等の活用可能性を調査								
<b>実施方法</b>	委託・請負								
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-	200	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	0	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	0	200	
	執行額	-	-	-	-	-			
執行率(%)	-	-	-	-	-				
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度		
	平成32年度までに、医療をはじめとする産業分野における4K・8Kサービスの経済波及効果(予算執行額に対する比率B/C)を拡大する。	4K・8Kサービスの経済波及効果(億円)/予算執行額(億円)	成果実績	倍	-	-	-	32年度	
			目標値	倍	-	-	-	6	
			達成度	%	-	-	-		
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度		
	平成28年度中に、4K・8K技術等を活用したICTシステムのモデルを構築する	モデルの件数	成果実績	件	-	-	-	28年度	
			目標値	件	-	-	-	1	
			達成度	%	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック		
<b>活動指標及び活動実績(アウトプット)</b>	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込			
	実施プロジェクトの件数	活動実績	件	-	-	-			
		当初見込み	件	-	-	-			
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込			
	単位当たりコスト = 執行額/実施したプロジェクト件数	単位当たりコスト	-	-	-	-			
		計算式	/	-	-	-	-		
内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	-	2.3	平成28年度新規要求 「新しい日本のための優先課題推進枠」200百万円					
	委員等旅費	-	2.2						
	職員旅費	-	0.5						
	情報通信技術研究開発調査費	-	194.9						
計	0	199.9							

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、4K・8K技術等の恩恵をいち早く国民に届けることを目的としており、国民や社会のニーズに応えるもの。特に、医療分野への応用については、離島・中山間地等における医療資源の不足や都市部等との医療サービス水準の格差といった社会的課題を解決し、国民や社会のニーズに応えるものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	4K・8K技術は放送以外の分野においても大きなポテンシャルを有しており、国民がその恩恵を享受するためには着実に社会実装していくことが重要であるが、そのすべてを民間等に委ねると技術の確立に時間を要するため、本事業により国が当初のモデル構築を支援し、ガイドライン等の形でとりまとめ、その自律的展開を促していく必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、国が民間投資の呼び水として当初のモデル構築を支援し、医療機関等が効率的・効果的にシステムを導入できる環境を整備することにより、その自律的展開を促していくものであり、4K・8K技術等の社会実装を加速し、世界における我が国の技術優位性を確保するとともに医療サービスの質の向上等を図るという政策目的の達成手段として必要最小限度で実施する適切な事業である。なお、本事業は「経済財政運営と改革の基本方針2015」や「日本再興戦略」改訂2015等に基づいて実施するものであり、ITによる産業構造改革や世界最高水準のIT社会の実現という政策体系において優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は、4K・8K技術等の社会実装の加速による我が国の技術優位性の確立や、離島・中山間地等における医療資源の不足及び都市部等との医療サービス水準の格差といった喫緊の社会的課題を解決し、国民や社会のニーズに応えるものであり、民間等における自立的展開を促進するための呼び水として、国が実施すべきものである。	
	改善の方向性		
外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度		平成23年度		平成24年度	
平成25年度		平成26年度			
<b>資金の流れ</b> (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<p>※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; margin: 0 auto; padding: 5px; text-align: center;">総務省</div> <p style="text-align: center;">【実証の調達、事業進捗管理】</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p style="text-align: center;">【一般競争入札】</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; margin: 0 auto; padding: 5px; text-align: center;">A, 民間事業者等</div>				
<b>費目・使途</b> (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.		E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.		F.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.		G.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.		H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					<input type="checkbox"/> チェック

**支出先上位10者リスト**

A.

No.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載					<input type="checkbox"/> チェック